

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 堀 圭一

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	構造物掘削 普通部 特殊部A4について 各項目の軟岩掘削方法はハッパ施工と考えてよろしいでしょうか。	機械掘削を想定しております。
2	構造物掘削 特殊部A4について 「グランドアンカー材は、撤去後の運搬、処分まで含める。」と考えてよろしいでしょうか。	撤去後の処分については監督員と受注者とで協議することとなります。
3	設計図(トンネル工) 15~16/79 支保パターン図の吹付・ロックボルト材料表に鏡吹付コンクリートの数量が記載されていますが、C2-aとC2-bが同じ数量の54.023m <sup>2</sup> となっています。 余掘厚さがC2-aは21cm、C2-bは17cmと違うため同じ数量とならないですが、 今回はこの数量で見積をすると考えてよろしいでしょうか。	鏡吹付コンクリート面積の数量は、C II-aパターンは54.023m <sup>2</sup> 、C II-bパターンは53.274m <sup>2</sup> が正となります。

番号	質問事項	回答
4	<p>設計図(トンネル工) 59~60/79          非常施設箱抜工図の通話型通報設備で、D3a(H)-1-Bの補強鉄筋がD13の49.6kgとD13~D19の165-58=107kgがあります。          これは、二重に鉄筋を組み立てると考えてよろしいでしょうか。          また、D3パターンは、D16~19の補強鉄筋があるため、D13の49.6kgは必要ないのでしょうか。</p>	設計図書に誤りがありましたので、後日訂正いたします。
5	<p>数量明細表          単価項目97のフリッカ設備の供用が625日となっていますが、これは掘削期間+覆工完了までの期間（濁水処理設備の供用期間）と考えられます。          フリッカ設備は、覆工だけの期間は必要ないため、18.8月×30=564日ではないでしょうか。</p>	フリッカ設備工（供用）の数量は564日が正となります。
6	<p>特記仕様書 P40~41          注入式長尺鋼管先受工で施工する鏡吹付（t=10cm）は単価項目106の打設工Aで計上すればよろしいでしょうか。</p>	単価項目52 トンネル掘削 D III a -1-Bに含まれます。
7	<p>貸与資料 トンネル詳細設計REPORT09          数量計算書P7-4のインバート妻型わく工で、インバート厚がC1LとD3a以外は図面と異なっています。          この異なった数量で、計算された型わくの数量1,160.6m<sup>2</sup>が割掛け対象表参考内訳書の数量となっています。          正しいインバート厚で計算すれば、1,105.6m<sup>2</sup>ではないでしょうか。</p>	インバート妻型わく工の数量は1,105.6m <sup>2</sup> が正となります。
8	<p>貸与資料 トンネル詳細設計REPORT09          数量計算書P9-6の非常駐車帯棲壁部の(e)覆工型わくが1箇所となっていますが、2箇所の間違いでないでしょうか。          (f)の足場は、2箇所なっています。          この1箇所分の数量が割掛けの非常駐車帯妻型わく費の数量となっています。</p>	非常駐車帯妻型わくの数量は2箇所が正となります。

番号	質問事項	回答
9	<p>貸与資料 トンネル詳細設計REPORT09 箱抜き工のJF手元開閉器の数量（掘削、吹付コンクリート、覆工等）が計上されていなく、その少ない数量がD1, D3の金抜き設計書の数量となっていますがよろしいでしょうか。</p>	<p>箱抜き工の数量に誤りがありましたので、後日、設計書、数量明細表を訂正いたします。</p>